

2. 事業の概要と成果																								
(1) 上位目標の達成度	<p>上位目標：ガザ地区での安定的な食料確保と自給率の向上、環境保全と緑化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガザ地区の農業セクターを強化する 2. 環境保全型農業技術を普及する <p>2年次では本事業の3つの柱である研修、育苗、水資源に関する活動を同時に展開し、これらの活動を通じて、若手技術者、農家、現地協力団体、コミュニティの中で環境保全型農業の推進を総合的に実施し、各活動における裨益者数を着実に伸ばせることができた。</p> <p>野菜接木技術をはじめとした新しい取り組みは現地の農業セクターへの刺激となって、活性化を促している。</p>																							
(2) 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 若手農業技術者の育成 理論と実習を組み合わせた農業研修 2 篤農家および周辺農家の技術向上 理論と実習を組み合わせた農業研修を実施 3 育苗活動を通じた農地復興の促進 野菜および樹木の育苗と農家への配布。 接木技術の導入による耐病性の高い苗木の生産。 4 水資源の有効利用・節水型農業の普及 農場での貯水池の利用、家庭雑排水処理設備を設置、再処理水の農業利用。 テンシオメータ（簡易土壤水分計）の配布、節水型農業指導。 5 現地農業 NGO の能力強化 現地協力 NGO「パレスチナ農業開発協会：PARC」と事業を実施。 スタッフの能力と事業実施体制を強化。 																							
(3) 達成された効果	<p>(イ) 若手農業技術者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修参加者の就職率は着実に伸び、また農業セクターへの人材輩出は進んでいる。 ・ 一方でガザ地区の雇用状況が改善されていないため、全員が就職できるところまでは至っていない。 <table border="1" data-bbox="600 1574 1350 1877" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">研修 修了者数</th> <th colspan="3">就職者数（受講者）</th> </tr> <tr> <th>農業セクター</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初年次</td> <td>19人 (20人中)</td> <td>11人</td> <td>6人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>16人 (20人中)</td> <td>14人</td> <td>1人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35人</td> <td>25人</td> <td>7人</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2013年6月現在</p>		研修 修了者数	就職者数（受講者）			農業セクター	その他	合計	初年次	19人 (20人中)	11人	6人	17人	2年次	16人 (20人中)	14人	1人	15人	合計	35人	25人	7人	32人
	研修 修了者数			就職者数（受講者）																				
		農業セクター	その他	合計																				
初年次	19人 (20人中)	11人	6人	17人																				
2年次	16人 (20人中)	14人	1人	15人																				
合計	35人	25人	7人	32人																				

(ロ) 農家の研修

- ・目標数に近い篤農家が研修を修了し、ガザの各地にて環境保全型農業を自ら実践し始めている。
- ・周辺農家への知識や技術の普及も進んでいる。

	研修修了者数
初年次	59人
2年次	55人
合計	114人

(ハ) 育苗と配布による農地復興

- ・野菜・果樹の育苗は目標値を大きく上回る生産数を達成し、貧困農家、紛争被害農家等への配布を進めている。
- ・現状は農家が主な裨益者だが、3年次では学校やNGOなどへの配布も始めている。

	野菜 (生産・配布)	果樹 (生産)	合計
初年次	67万2千株	3,492本	675,492苗
2年次	182万7千株	36,327本	1,863,327苗
合計	249万9千株	39,819本	2,538,819苗

(ニ) 育苗施設を利用した環境保全型の研修事業の継続

- ・現地NGOが今後も育苗活動と環境保全型研修事業を継続できるよう、実習農場に以下を設置した。現地NGOには活動のノウハウが蓄積されている。

	育苗	研修
初年次	育苗温室2棟 露地栽培用地1棟 雨水集水池	研修カリキュラム 研修シラバス 研修教材データの蓄積
2年次	育苗温室4棟 露地栽培用地2棟 接木養生設備 井戸・発電機 接木技術を習得した作業員の養成	研修カリキュラム 研修シラバス 研修教材データの蓄積

(ホ) ガザ地区における水の再利用の普及

- ガザ地区における水問題の啓発と節水型農業を推進した。
- ・若手技術者研修および農家研修で水に関する科目を設置(家庭雑排水再利用、下水処理水利用、雨水利用、適正灌漑、テンシオメータ等)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ガザの水問題、テンシオメータに関するリーフレットおよび映像テキストの製作 ・家庭雑排水処理設備を 9 農家に設置し、再処理水の農業利用を開始 ・テンシオメータ（簡易土壌水分計）を 33 農家に配布し、節水灌漑を普及 ・実習農場に設置した集水池に、温室の屋根に降った雨水を集水。井戸水と併せて育苗に利用。 ・実習農場に雨量計を設置し、露地栽培の灌水計算に利用。 <p>(へ) 農業知識をまとめた冊子の作成と普及 3 年次での冊子作成に向けて、研修で使用した環境保全型農業の教材データを蓄積している。</p>
(4) 持続発展性	<p>事業終了後は、現地協力 NGO「パレスチナ農業開発協会:PARC」へ活動を引き継いでいく予定であり、そのために以下のような対応を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習農場に設置した各施設では、協働で設備確認をする機会を設け、温室メンテナンス等を適時実施している。またそのマニュアル化や設備管理表も作成している。 ・事業終了後、実習農場で生産した苗木の販売などを通じて経済的な持続性を確保する予定である。このため、育苗生産能力の質・量両面における強化、販売に結び付けるための農家や地元農業組合など関連団体とのネットワーク強化を進めている。 ・各活動の裨益者へのフォローアップを継続的に実施。特に定期的なメンテナンスが必要となる家庭雑排水については、メンテナンス用の資機材を配布し、デモンストレーション講習などを全裨益者対象に実施中である。 ・調達、実施、モニタリング、評価のすべてにおいて現地スタッフが参加し、活動ごとの管理・記録フォーマットの作製と随時の改善をして、スタッフの能力強化や管理ツールの充実化等の持続性の向上を意識している。 ・接木など新規導入技術について、内部講習会の実施や資料の作成を通じて現場に残る形で定着を図っている。 ・上述の事項を包括的に捉えるためのフィージビリティスタディを PARC と協働で開始している。